

TTI・エマージング厳選株式ファンド

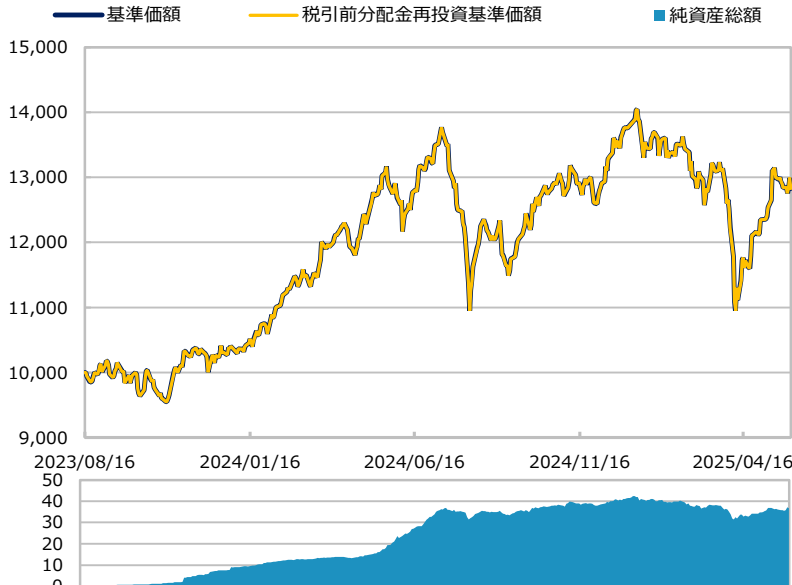
【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

ファンド設定日：2023年08月17日

日経新聞掲載名：TTIエマ

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	12,830	+715
純資産総額（百万円）	3,666	+262

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

	基準日	ファンド
1 ヵ月	2025/04/30	5.9
3 ヵ月	2025/02/28	-1.5
6 ヵ月	2024/11/29	1.8
1 年	2024/05/31	1.1
3 年		
設定来	2023/08/17	28.3

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2024/08/13	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（％）

	当月末	前月比
株式	92.1	-1.9
先物等	0.0	0.0
現金等	7.9	+1.9
合計	100.0	0.0

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式	+505	+26	+479
先物等	0	0	0
為替	+229	-	-
分配金	0	-	-
その他	-19	-	-
合計	+715	+26	+479

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

T T I・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

基準価額の変動要因の推移（円）

	2024/12	2025/01	2025/02	2025/03	2025/04	2025/05	6か月集計	12か月集計
株式	+674	+195	-110	-164	-258	+505	+843	+1,483
インカム	+12	+12	+8	+10	+58	+26	+126	+233
キャピタル	+662	+183	-118	-174	-316	+479	+717	+1,250
為替	+499	-345	-440	-2	-441	+229	-500	-1,106
分配金	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	-22	-22	-18	-20	-19	-19	-121	-236
合計	+1,151	-172	-568	-186	-718	+715	+222	+141

組入上位10カ国・地域（％）

	当月末	前月比	
1 中国	21.5	-0.6	21.5
2 インド	18.9	-2.6	18.9
3 台湾	13.4	+2.1	13.4
4 アルゼンチン	9.6	-1.8	9.6
5 ブラジル	8.3	-0.1	8.3
6 韓国	7.7	+2.5	7.7
7 アラブ首長国連邦	3.5	-1.3	3.5
8 ギリシャ	2.2	+0.5	2.2
9 ハンガリー	1.4	+0.5	1.4
10 トルコ	1.4	+0.6	1.4

組入上位10通貨（％）

	当月末	前月比	
1 アメリカドル	18.7	-3.4	18.7
2 インドルピー	17.4	-1.1	17.4
3 台湾ドル	13.4	+2.1	13.4
4 香港ドル	13.0	+0.2	13.0
5 韓国ウォン	7.7	+2.5	7.7
6 ブラジルレアル	6.0	+0.5	6.0
7 中国元(オフショア)	5.4	-0.6	5.4
8 アラブディルハム	3.5	-1.3	3.5
9 ユーロ	2.2	+0.5	2.2
10 カナダドル	2.2	-1.0	2.2

組入上位10業種（％）

	当月末	前月比	
1 銀行	11.3	-1.9	11.3
2 半導体・半導体製造装置	10.7	+3.4	10.7
3 テクノロジ・ハードウェア・機器	9.0	+0.4	9.0
4 公益事業	7.4	+0.6	7.4
5 一般消費財・サービス流通・小売り	7.3	-0.7	7.3
6 不動産管理・開発	6.9	-0.4	6.9
7 資本財	5.9	+1.2	5.9
8 消費者サービス	5.7	-0.9	5.7
9 メディア・娯楽	5.2	+0.2	5.2
10 金融サービス	4.9	-0.1	4.9

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。



TTI・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

※ このページはTTインターナショナル・アセットマネジメント・リミテッドから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

組入上位10銘柄（％）

（組入銘柄数 60）

銘柄	国・地域/業種	比率	コメント
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC 台湾 半導体・半導体製造装置	6.8	半導体の設計を自前で行わず、受託製造に特化する「ファウンドリ」と呼ばれる業態のパイオニアであり売上規模で世界トップを誇る。最先端技術への積極的な投資を行いつつ、優良顧客との強固な関係のもとで、高い収益性を実現。
2	TENCENT HOLDINGS LTD 中国 メディア・娯楽	3.8	中国のインターネットサービス大手。対話アプリ「微信」（日本の「ライン」に相当）やインスタント・メッセンジャー「QQ」で築いた膨大な顧客基盤とブランド力を背景に、ゲームやオンライン決済サービス、動画配信などを展開する。
3	EMAAR PROPERTIES PJSC アラブ首長国連邦 不動産管理・開発	3.5	アラブ首長国連邦（UAE）最大級の不動産デベロッパー。世界で最も高いビルであるブルジュ・ハリファなど、さまざまな大規模プロジェクト開発や世界各地の不動産を保有。
4	GRUPO FINANCIERO GALICIA-ADR アルゼンチン 銀行	3.1	アルゼンチンの金融サービス持株会社。同社の銀行業務はアルゼンチン国内の民間銀行の中で最大規模のひとつ。ハイパーインフレの鈍化を理由に同国中央銀行が利下げを実施。銀行の収益が改善する環境が確認された。
5	CONTEMPORARY AMPEREX TECHN-A 中国 資本財	2.7	中国最大のリチウムイオンバッテリーメーカー。テスラを含め多くのOEMにEV向けバッテリーを供給。脱炭素化の流れにより拡大するEV市場の中で重要な役割を果たしている。
6	PAMPA ENERGIA SA-SPON ADR アルゼンチン 公益事業	2.6	アルゼンチンの総合電力会社として発電、石油・ガス、石油化学製品を展開している。また、高圧送電網の運営と保守を行っており、ガスパイプラインによる天然ガスの輸送事業も展開している。
7	XIAOMI CORP-CLASS B 中国 テクノロジー・ハードウェア・機器	2.5	中国のスマートフォン大手。中国国内のみならず海外市場でも急速に存在感を高めており、世界的にも大手の一角を占める。新たな収益源とすべく、EV（電気自動車）事業に参入した。
8	DELTA ELECTRONICS INC 台湾 テクノロジー・ハードウェア・機器	2.4	台湾の電源装置メーカー。パワーエレクトロニクス事業を中心に、産業自動化機器や情報通信機器など、広範囲にわたる機器とサービスを提供する。近年はEV（電気自動車）関連事業が業績を牽引している。
9	PRESTIGE ESTATES PROJECTS インド 不動産管理・開発	2.3	不動産デベロッパー。バンガロールを中心にインド国内の主要都市で、ショッピングモールや大規模マンション、オフィスビルなど総合的な都市開発に従事。
10	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD 韓国 テクノロジー・ハードウェア・機器	2.3	韓国を代表する電子機器・電気製品メーカー。DRAMやNAND型フラッシュメモリといった半導体や携帯電話、家電、液晶用パネルが事業の柱で、世界的なトップメーカー。

※ 組入銘柄の紹介を目的としており、記載銘柄の推奨を行うものではありません。また、記載内容は作成時点のものであり、将来予告無く変更されることがあります。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

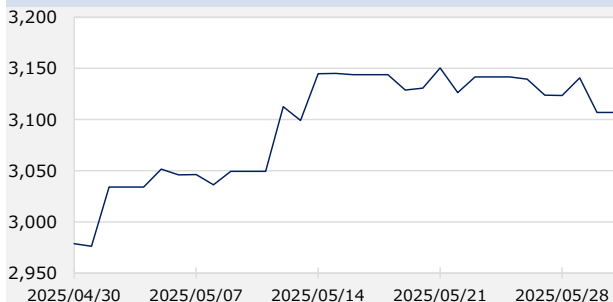
TTI・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

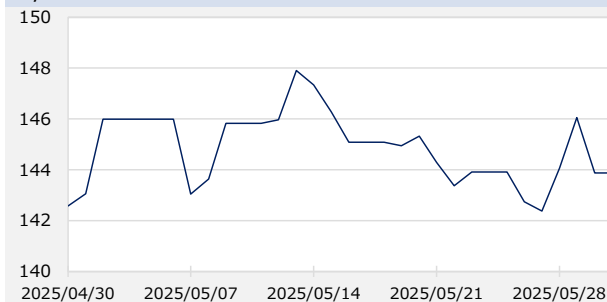
(ご参考) 市場動向

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、アメリカドルベース）



当月末：3,106.9 前月末：2,978.6 騰落率：4.3%

円/アメリカドル（円）

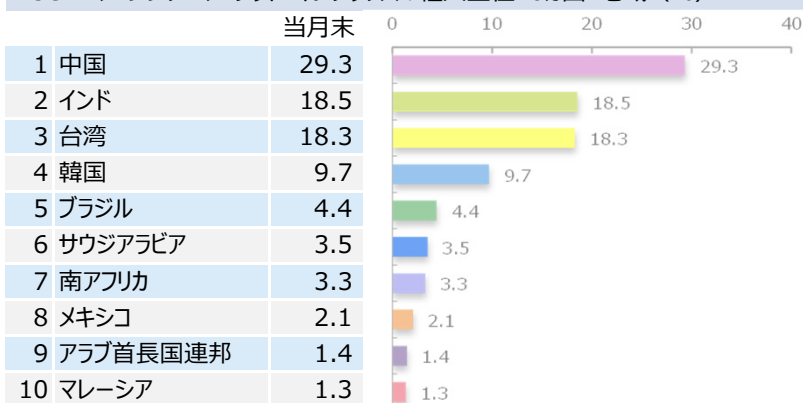


当月末：143.9 前月末：142.6 騰落率：0.9%

※ DataStream等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。

※ 為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値（TTM）です。

MSCIエマージング・マーケット・インデックスの組入上位10カ国・地域（%）



※ 当インデックスは、当ファンドのベンチマークおよび参考指数ではありません。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

TTI・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

※ このページはTTインターナショナル・アセットマネジメント・リミテッドから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

5月の新興国株式市場は上昇しました。

アジアの新興国株式市場では、中国は上昇しました。米国と中国が追加関税の税率を一定期間引き下げることで合意したと発表されたことなどが好感されました。また、中央銀行が政策金利を引き下げ、景気を支援する姿勢を示したインドネシアや、大統領選挙後に市場改革が進展することやさらなる金融緩和が実施されることなどへの期待から韓国が上昇しました。アジア以外の地域では、メキシコが上昇しました。メキシコ銀行（中央銀行）による追加利下げの期待などもあって、内需関連に買いが集まり、大手銀行銘柄や不動産銘柄の株価が堅調でした。

※各国の上昇下落のコメントはMSCI指数、ローカル通貨をベースに記載しています。

＜運用経過＞

5月のマザー・ファンドの基準価額は上昇しました。保有しているアルゼンチン株などは下落しましたが、ギリシャの銀行株や、AI関連やデータセンター関連などの銘柄が上昇しました。

5月の主な売買では、アルゼンチン株のウェイトを引き下げた一方で、韓国や台湾の半導体銘柄のウェイトを積み増しました。

＜市場見通し及び今後の運用方針＞

米国政策がグローバル株式市場を不安定にしてきましたが、米ドル安を通じて米国の競争力を高めるという事態が徐々に現実化しつつあります。足元の不安定な状況により、投資家は資金を米国から欧州や日本、新興国株式市場へ資金をシフトさせていると思われます。米ドル安と新興国株式のアウトパフォームとの間には極めて強い相関関係が存在します。新興国株式市場への資金配分は、前回ピークの2010年と比較すると大幅に低下していますが、新興経済国の世界GDP（国内総生産）に占める割合は、同じ期間に大きく増加しています。今後はこの不均衡が新興国株式の相対的な上昇により解消されていくと考えています。

ポートフォリオは、中国をアンダーウェイトとしている一方で、アルゼンチンの金融、インフラ関連銘柄や、台湾、韓国のテクノロジー銘柄をオーバーウェイトにしています。高い流動性に重点を置くことで、高いボラティリティ（変動性）をうまく利用できるかと確信しています。柔軟な投資アプローチを駆使してより高いリターンを追求する所存です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

Be Active.

TTI・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

ファンドの特色

1. TTI・新興国株式アンCONSTレインド戦略マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、新興国・地域の市場（エマージング市場）の中から、急速な経済発展における成長機会を捉えられる有望な企業の株式に投資します。
 - 新興国・地域で主要な事業を展開している先進国の株式に投資する場合があります。
 - ※株式には不動産投資信託（REIT）、DR（預託証書）等を含みます。

新興国・地域とは
先進国に比べ、経済が発展途上にあり、将来的に高い成長が期待される国・地域を指し、エマージング国・地域と呼ばれることもあります。
当ファンドでは、主に、MSCIエマージング・マーケット・インデックス構成国・地域の株式に投資を行います。当該インデックス構成国・地域以外の株式にも投資をする場合があります。
 2. トップダウンの市場分析とボトムアップの企業のファンダメンタル分析に基づき、投資魅力のある銘柄に投資します。
 3. 実質的な運用は、TTインターナショナル・アセットマネジメント・リミテッドが行います。
 - マザーファンドの運用にあたっては、TTインターナショナル・アセットマネジメント・リミテッドに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
 4. 実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 - 基準価額は為替変動の影響を受けます。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。



T T I・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

投資リスク

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

特に投資先が新興国の場合、その証券市場は先進国の証券市場に比べ、より運用上の制約が大きいことが想定されます。また、先進国に比べ、一般に市場規模が小さいため、有価証券の需給変動の影響を受けやすく、価格形成が偏ったり、変動性が大きくなる傾向が考えられます。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 投資対象国によっては、有価証券の売買を行う際の売買益等に対して課税される場合があります。将来、これらの税率や課税方法が変更された場合、または新たな税制が適用された場合、基準価額に影響を及ぼすことがあります。また、現地税務代理人との契約が必要となる場合があります。これらの契約関連費用は、原則としてファンドが実質的に負担することになるため、基準価額に影響を及ぼすことがあります。さらに、保有期間に応じたキャピタル・ゲイン税等が遡及的に課税される場合があり、基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- 当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

T T I・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2023年8月17日設定）

決算日

毎年8月10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

申込受付日または申込受付日の翌営業日が以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ロンドンの取引所の休業日
- ロンドンの銀行の休業日



T T I・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.30%を乗じた額です。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理费用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.925%（税抜き1.75%）の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。



TTI・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社SMBC信託銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。
投資顧問会社	マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。 TTインターナショナル・アセットマネジメント・リミテッド

TTI・エマージング厳選株式ファンド

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／株式

作成基準日：2025年05月30日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
S M B C日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		
P W M日本証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第50号	○	○				
株式会社 S M B C 信託銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第653号	○	○	○		○	

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用